

水草研究会会報投稿規定

1. 投稿は本会会員に限る。但し、本会が依頼した場合はこの限りではない。
 2. 原稿内容は、水草*に関する調査、研究報告、解説（総説）、短報、諸資料、諸情報、エッセイ、他とする。なお原稿の内容に疑義のある場合は、書き直しを求めることがある。
 3. 原稿作成にあたっては、以下の諸点に留意する。
 - A. 原稿は横書き原稿用紙に楷書するか、ワープロ（和文タイプ）を用いる。
 - B. 原著に相当する報文には著者名及びタイトルの英語を併記すること。また、著者が必要と認めた場合は、英文摘要（Abstract）をつけることができる。
 - C. 図は活字の貼り込みをのぞき、そのまま製版できるように仕上げる。図（写真含む）の右上または裏面に、図の番号と著者名を書き、説明は別紙に一括する。表は別紙に書く。表の説明は各表の上側につけ、必要に応じ、下に注をつける。
 - D. 文献の引用は、文献番号ではなく、著者名と年号を明記する。
（例）『三木（1937）は、…』『…である（三木，1937）』。また、文末の引用文献は、最近号の例にならって、著者の姓名のアルファベット順に配列する。
 4. 掲載の順序と体裁、並びに校正は編集担当者に一任のこと。なお、特に希望する点があれば申し出る。
 5. 別刷を必要とする場合は、投稿時に必要部数を申し込むこと（50部以上、50部単位）。費用は著者負担とする。
 6. 送稿や編集に関する通信は、〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1 神戸大学国際文化学部生物学教室 角野康郎宛とする。
- *ここで言う水草は狭義の水草に限定せず、広く湿地や水辺の植物なども含むものとする。

[編集後記]

まず今回も会報発行の遅延についてお詫びしなければなりません。これで2000年度に予定されていた会報がようやく発行できたという次第です。

さて、今回は表紙写真と冒頭の報告にボタンウキクサを取り上げました。すごいですね、の一言です。繁茂の状況も、各地への広がりスピードも、かつてのホテイアオイをしのぐのではないのでしょうか。分布拡大は、個人の責任を越えて「業界」（何業界？）にも責任がある構図になっています。生物多様性を保全することの意味に無理解なまま「自然復元」や「ビオトープ」づくりが広がることは、日本の自然にとって深刻な脅威となることは必至です。水草研究会が間違ったことに荷担しないように、問題提起を続けたいと思います。

次号は夏までに発行予定です。投稿を準備されている方は早い目に原稿をお送り下さい。

（角野）

水草研究会役員（2001～2002）

会 長 桜 井 善 雄
副 会 長 浜 島 繁 隆, 角 野 康 郎
幹 事 沖 陽 子, 尾 崎 富 衛, 國 井 秀 伸,
久 米 修, 下 田 路 子, 田 中 修,
林 浩 二, 別 府 敏 夫, 星 一 彰
顧 問 大 滝 末 雄, 加 崎 英 男

○入退会, その他の問い合わせは事務局まで

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

神戸大学国際文化学部生物学教室 角野研内

水 草 研 究 会

TEL&FAX 078-803-5719

E-mail: kadono@kobe-u.ac.jp

水草研究会会報 72号

2001年3月25日印刷

2001年3月30日発行

発 行 水 草 研 究 会

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

神戸大学国際文化学部生物学教室 角野研内

TEL (078) 803-5719

FAX (078) 803-5719

印 刷 中 村 印 刷 株 式 会 社

〒657-0035 神戸市灘区友田町3-2-3